

11月26日(日) 第二礼拝「起きよ、光を放て」 イザヤ 60章 1-3節

この御言葉は、預言者イザヤがシオンに向けて叫んだもので、このシオンを通してイエス様が与えられました。私達はこの光によって救われエクレスシア(教会)となりました。ですから、この御言葉はイスラエルだけでなく、霊的イスラエルである私達にも語られています。

第一番目、「起きよ」と言われます。主の声を聞くと死んだ者が生き返ります。ナインという町のやもめの息子やラザロも、主の声を聞いて死んだ状態から起きました。また、会堂管理者ヤイロの娘も、主が「タリタ、クミ(少女よ、起きなさい)」と言われ時に起きあがりました。イエス様の声は肉体だけではなく霊も生かしてくださいます。イエス様がこの地上に来られた本当の目的は、私達の霊を生かすためです。霊が死んだ状態にあると、神様のことが悟れません。しかし、水(イエスキリスト)と御霊によるならば、霊は生かされます。

第二番目、「光を放て」と言われます。光を放つことができない人達が多くいます。神様との関係を結んでいるのに、霊魂が病んでいて、魂が強いので光を放つことができません。高慢、妬み、恨み、虚栄心、悪い習慣、中毒(ゲーム・ポルノ・テレビ)、怒り等が神様の光を放つことを妨げます。また、固執する考え、理念、主義が強いと召命を果たすことを妨げます。ヨナはアッシリアを憎んでいました。神様から「そこに行き福音を語りなさい」と言われても、ヨナは逃れようとしてしました。そこで神様はヨナを魚のお腹の中に入れます。ヨナが苦しみの中で悔い改めると、魚は彼を陸地へ吐き出しました。その後ヨナはニネベに行き説教を語ると、ニネベの王から市民、動物に至るまで断食し主に立ち返りました。しかし、それを見てヨナは怒りました。光とは私達の光ではなく、神様の御言葉、福音であり主の栄光です。本文 1-2 節「主の栄光があなたの上に輝いている…あなたの上に主が輝き、その栄光があなたの上に現れる」光がない人は、暗闇の中で彷徨い偶像崇拝者となってしまいます。ローマ 1:21-25「神を神としてあがめず、感謝もせず、かえってその思いはむなしくなり、…神の真理を偽りと取り換え、造り主の代わりに造られた物を拝み、これに仕えたからです。」

第三番目、聖霊の力によって光を放ちます。イエスキリストの福音といのちの御言葉をいただいた私達は、聖霊の力によって他の人にその光を放つことができます。私達は家庭、職場、教育現場、ビジネス界、政界、芸能会等に送られた宣教師です。私達はそのネットワークの中で共に光を放つことができます。使徒の働き 1:4「父の約束」とは聖霊のバプテスマのことです。使徒の働き 1:8「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」アズサリバイバルの主人公であるウイリアムシモアという黒人牧師は、聖霊のバプテスマの証拠が異言であると語ったため教会から追い出され、後にアズサに移って連日聖会を行いました。そこでリバイバルが起こり、全世界にリバイバルの火がつけました。ヨイド教会もコロナ以前よりももっと大きくりバイバルしました。このように聖霊は私達にキリストの証人となる力を与えてくださいます。アーメン！